

「国産排出枠」 5事業を認証

計600トン分

大企業が中小企業などに省エネ支援して温暖化ガスを減らし、その見返りに排出枠として取得できる「国内クレジット制度」で、政府は16日、国内クレジット認証委員会

浴施設のボイラーを省エネ性の高い燃料に変更した事業や、昭光通商が大分県のバラ園の空調設備を高効率型に更新した事業など5件が認証された。

を開き、Jパワーや丸紅などが参加する5事業の排出枠を認証した。合計600トン分の「国産排出枠」が生まれた。

同制度は昨年10月、企業間で排出枠を売買する国内排出量取引制度の試行の中核制度として始まった。認証は今回が2回目。

Jパワーが静岡県の人